

みちぶしん “道普請” 土木未来

自分達の道は自分達で守る！（協働による環境整備）

安全・快適な道路環境を整備するため、地域住民が主体となり、「菅原山浦線」の支障木伐採作業および路肩に貯まった土砂の撤去作業が行われました。

当地区では、平成22年度から同様の作業が行われており、地域住民と行政が一体となった取組みが評価され、今回の作業へと繋がっております。

また、玖珠土木管内では、本路線以外に「下恵良九重線」や「玖珠山国線」でも同様の取組みが地域に根付き、継続して行われています。

実施日：平成30年9月15日（土） 9:00～15:00
実施場所：県道菅原山浦線 玖珠町大字山浦
参加者：地域の皆さま約14名 玖珠土木職員5名
建設業者2名

菅原山浦線は国道210号と国道387号を南北に接続するアクセス道路であり、また沿線に慈恩の滝を有するなど、地域住民の日常生活から県内外の観光客の往来に至るまで様々な交通需要に供されています。

しかし、夏場に草が繁茂し、梅雨時期の降雨により、路肩に土砂が堆積し、視覚的な道幅が狭くなっていました。

今回、地区住民から「支障木の伐採作業や土砂の撤去を行い、道路利用の向上を図りたい」と提案があり、樹木所有者との調整と伐採を地域住民、交通誘導と伐採手伝いを土木事務所の役割分担で実施しました。

作業状況



参加者打ち合わせの様子



伐採作業の様子



見通し良好



片付けの様子

作業後の状況



作業前



作業後

木が伐採され、道が広く感じられます。

皆さん、お疲れ様でした！”道普請”を引き続きお願いします！